様式３

作成日　平成２２年５月５日

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	地域の一大イベントとなった「やまと夏祭り」が、今年も盛大に開催された。利用者の家族も、半数以上が参加して夏の一日を楽しんだ。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	推進会議の開催は年2回だが、議事録から内容の濃い会議風景が読み取れる。 地域交流や災害対策が真剣に討議され、職員の「協力を求めるばかりでなく、ホームも積極的に地域に出る」の言葉で締められている。	×
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	行政との折衝は、法人本部の役割となっている。 管理者が市の担当者と顔を合わせる機会は、推進会議の他にはほとんどない。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	一ホームの利用者や家族から出された意見や要望を、定例の幹部会の議題として取り上げ、他のホームへも水平展開することでケアの質を高めている。 しばらく休刊していた「やまと通信」が復刊した。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営推進会議が年間2回しか開催されなかった。内容が濃い会議となっているだけに、徐々に回数を増やしていく試みがほしい。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目２、３、４については１つ以上、外部評価項目６については２つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。